

超 エクセレントテクノロジー

埼玉西部地域

いつの時代でも栄枯盛衰、毀譽褒貶はつきもの。特に、現代は移動時間の短縮、情報伝達の高速度が目覚ましく進み、グローバル時代と呼ばれる。こうした潮流下で、世界全体を見据えた「適地生産」という経営理念がもてはやされ、人種・国境を問わない多様性社会が求められるようになった。ただ、時代がシナリオ通り動く保証はない。日々の経済活動は、ミクロ経済の積み重ねで決まり、特に日本においては元氣な中小企業が地域の草の根経済を支える。埼玉西部地域で奮闘する企業の活動をレポートする。

カーボンコンポジット製シートフレーム量産化へ

チャレンヂ

チャレンヂ(埼玉県狭山市、中村敬佳社長、049・2558・3888)は、炭素繊維複合材(カーボンコンポジット)製品の開発・製造を手がける。このころ自動車向けが活況で、同内装部品から外装部品(写真)まで、採用品種も増加傾向が続く。また、ボーイング787次世代機向け金型部品などの特需



2000年のサーボプレス機を用いて量産する。プレス金型を工夫するなどして、1個あたりの成形時間を約5分で済ませ、周辺工程を含めても、従来の成形炉(オートクレーブ)式に比べ、およそ10倍の生産性を実現した。

海底地震津波観測網向け特需を予想

三芳合金工業

三芳合金工業(埼玉県三芳町、萩野茂雄社長、049・2558・3888)は、戦前から銅合金製品を手がけてきた。少量多品種品に強みがあり、各産業分野から持ち込まれる難題に真つ向から対応。イエソク(萩野源次郎常務)が社のキャッチフレーズともいえる。

航空機向けランディングギア用交換部品において国内で大きなシェアを握る。こうした実績をひたすら、現在、ヨーロッパやアジアなどの航空機向け需要を開拓中。欧州で建設計画が進んでいる国際熱核融合実験炉(ITER)予備図)でも三芳合金工業製品の採用が決まるなど、その技術に対する信頼は大きい。

樹脂焼結多孔質体の専門メーカー

染谷製作所

染谷製作所(埼玉県新座市、染谷周社長、048・479・3260)は、樹脂焼結多孔質体(写真)の専門メーカー。液体向けフィルターや空気音用サイレンサー、

銀座4丁目に独自のデザインのアルミイト模様が登場

曙金属工業

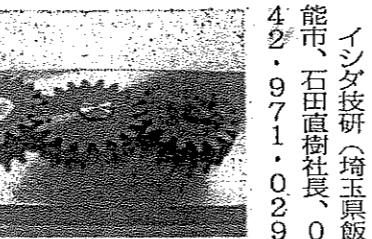
曙金属工業(埼玉県川越市、清水矩明社長、049・243・266)が表面処理を手がける。銀座4丁目に出現(写真)した。街灯の根本部分にシルバー基調で被覆処理されている。正確な本数は不明だが、さつと見渡す限り



車密度を利用して回転伝達速度を可変。これによりクラックやスライターの変速動作を可能にする。例えば、田植え機の遊星歯車機構(写真)を利用した植え付けアームの変速動作制御に用いられるなど、作業動作の高速化に一役買っている。最近では、海外からの商談も舞い込む。

非円形歯車で著名な存在

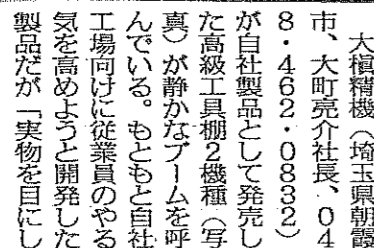
イシダ技研



イシダ技研(埼玉県飯能市、石田直樹社長、042・971・029)はカムユニットや非円形歯車など各種歯車製品の設計・製造が主力。特に非円形歯車に関して、国内に2社しかない。最近では、海外からの商談も舞い込む。

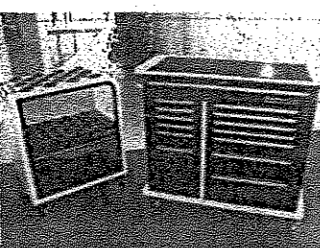
高級工具棚が静かなブーム

大楨精機



大楨精機(埼玉県朝霞市、大町亮介社長、048・462・0832)が自社製品として発売した高級工具棚2機種(写真)が静かなブームを呼んでいる。もともと自社工場向けに従業員のやる気を高めようとして開発した製品だが「実物を目にし

て気に入った得意先などから、さりげなく注文が来るようになった。販売実績はまだ200台ほどだが、今年、日本国際工作機械見本市(JIMTOP)会場では再び話題を呼びそうだ。



高級工具棚としての「ツールワゴン」「ツール」には曲線を取り入れ、親しみやすいようデザインを追求した。作業者が移動しやすいようハンドルの出っ張りも抑えることでスタイルと機能性を両立。ツールキャビネットの引き出し取っ手部分には、指先がからみやすいよう丸みを帯びた形状を採用。フルスケールで使える引き出しは、強く押し込んでもしっかり閉まるなど、機構も工夫。キャビネットの側面には収納式テーブルを設け、いすに座りノートパソコンなどを使える。

熱い経営者魂で



イシダ技研 石田 直樹社長



曙金属工業 清水 矩明社長



三芳合金工業 萩野 茂雄社長



染谷製作所 染谷 拓工場長



チャレンヂ 中村 敬佳社長

カーボンコンポジットの可能性は限りない

品質・納期には特に配慮

社員が身内、友人に誇れる会社にする

何事も徹底的にやればダメ

非円形歯車なら全てまかせて

自社工場で行う。創業41年の経験と実績に裏打ちされた独自の生産設備が強みでもある。大抵の樹脂型も内製化しており、難形状品なども率先して引き受ける。フィルター性能をつかさどる平均孔径は5μmから調整が可能。月間、最大で約100種類の製品出荷を行っているが、このころは医療向けが忙しい。

グ(することで)マール調の結晶模様を表現した清水社長は「模様の珍しさに足止めして写真撮影する外国人もいた」とうれしそうに話した。

クリスタルメタルは、50μm四方まで表面処理できる。表面処理後のプレス加工や浅絞り加工にも対応可能なほか、さまざまな色調での染色処理が可能だ。

日本軽金属、高野軽金(東京都台東区)との共同開発。アルミ板表面に再成長させたアルミ結晶粒を酸洗処理(エッチング)することでマール調の結晶模様を表現した清水社長は「模様の珍しさに足止めして写真撮影する外国人もいた」とうれしそうに話した。

クリスタルメタルは、50μm四方まで表面処理できる。表面処理後のプレス加工や浅絞り加工にも対応可能なほか、さまざまな色調での染色処理が可能だ。

日本軽金属、高野軽金(東京都台東区)との共同開発。アルミ板表面に再成長させたアルミ結晶粒を酸洗処理(エッチング)することでマール調の結晶模様を表現した清水社長は「模様の珍しさに足止めして写真撮影する外国人もいた」とうれしそうに話した。

クリスタルメタルは、50μm四方まで表面処理できる。表面処理後のプレス加工や浅絞り加工にも対応可能なほか、さまざまな色調での染色処理が可能だ。